

学校運営協議会(定時制部会)議事録

|      |            |
|------|------------|
| 校名   | 府立佐野工科高等学校 |
| 准校長名 | 松野 良彦      |

|         |                                                                  |
|---------|------------------------------------------------------------------|
| 開催日時    | 令和8年2月19日(金) 18:00 ~ 19:00                                       |
| 開催場所    | 府立佐野工科高等学校 定時制専用棟1階教室                                            |
| 出席者(委員) | 山田部会長、渋谷副部会長<br>町谷委員、横平委員                                        |
| 出席者(学校) | 松野准校長、川口教頭、濱田保健主任、伯井教諭(生徒指導主任代理)<br>小寺教諭(教務主任代理)、靄実習助手(進路指導主任代理) |
| 傍聴者     |                                                                  |
| 協議資料    | 令和7年度学校経営計画および学校評価<br>各分掌目標について                                  |
| 備考      |                                                                  |

議題等(次第順)

- (1)准校長挨拶
- (2)海外研修紹介  
各分掌経過報告  
①准校長より ②生徒指導部より ③進路指導部より ④教務部より ④保険人権部より  
前回からの学校行事紹介
- (3)協議

協議内容・承認事項等(意見の概要)

質疑応答

・「半期認定化(半年ごとの単位認定)」を導入するというお話がありました。これによって、生徒たちにとっては具体的にどのようなメリットや影響があるのでしょうか？

⇒通信制を併修する生徒の管理や手続きが非常にスムーズになり、修得の効率が上がる。

・生徒の「やってみたい」を引き出す活動(虹色キッチン・韓国研修)について

⇒「生徒が自発的にやってみたいと思えるもの」をいかに増やすかをテーマに掲げ、先生方に体験的なコンテンツをたくさん用意してもらいました。その中で、「食(みんなで作って食べる)」という体験は、生徒たちに「またやってみたい」という自発的な発想を促す上で最も効果的であると実感しています。海外交流についても、美容や食など彼らの興味をひくテーマ(韓国など)を提示することで、まずは「こんな世界があるんだ」と見せるだけでも、彼らの「やってみたい」を引き出せるのではないかと考えています。

・全日制と定時制の「広報活動の連携」について

⇒全日制と定時制では、中学生にアピールする目的や生徒を募集する対象が少し異なるため、すべてを完全に一つに統合することは難しい部分もあります。しかし、全日制が商工会議所等と定期的に行っている取り組みや、毎年好評を博している「体験型」の学校説明会などに、定時制も一緒に参加して協力していくことは十分に可能と考えている。

・初めて定時制について知ることができて、その中で定時制に需要があると感じることができている。今後も広報活動に勤しんでほしい。

⇒グローバル社会に対応できるような生徒を育てたいと考えている。来年は中国やシンガポールの研修及び生徒の引率を考えている。その他にも広報の一貫として教員向けの学校案内を予定している。

令和8年度 学校経営計画の承認について

現在の生徒数(43名)という定時制の「少人数」の規模感を最大の強みと位置づけ、機動力を活かした個別サポート、外部資源の活用、および日本語能力に過度に依存しない「体験的授業・フィールドワーク」へのシフトを明確

次の会議日程

|    |  |
|----|--|
| 日時 |  |
| 会場 |  |